

2019年3月13日

車いす安全整備士養成講座
過去に受講いただいた方々へ

車いす安全整備士養成講座 手順変更について

標記につきまして、車いす安全整備士養成講座において、一部整備手順が変更となった箇所がございます。詳細については下記にてご確認ください。

記

1.手順が変更となった工程

チューブ交換（分解時）

2.変更となった手順詳細（チューブの取り外し手順）

①変更前

チューブのバルブ部分を取り外し、残ったチューブは順次取り外していく。チューブを取り外した後、残っているハンドリム側のタイヤを外す。

②変更後

バルブ部以外のチューブを順次取り外す。その後、同じくハンドリム側のタイヤもバルブ部以外を取り外し、最後にタイヤとチューブのバルブ部を同時に外す。

3.手順が変更となった経緯

現在、講義で使用している車椅子のタイヤサイズは22×1 3/8のものである。しかし、市場にある車椅子を見ると、22×1などの高圧タイヤ（細めのタイヤ）を使用した軽量車椅子などが増えてきている。22×1 3/8のタイヤサイズを想定した従来の手順では、高圧タイヤのバルブ元のゴムを痛める可能性があり、また、リムの形状によっては抜きにくいいため、本講座では2019年2月開催分より手順を改訂し、講義を行うこととなった。

以上